

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を推進し、「生きる力」「主体性」を育てる確かな学びを積み上げる授業実践に取り組む。	①自己選択・自己決定できる力を育む授業を実践する。  ②意思の表出・選択を引出す授業実践に取り組む。ICT機器等を有効的に利活用する。	①主権者教育、防災教育等の授業を中心に、自己選択・自己決定する場面を設定する。実態に応じた手段を提示する。  ②意思決定(表出)のために、ICT 機器等を活用し、児童・生徒の表出を引出す。	①授業の中で自己選択・自己決定をする場面を設定できたか。また、実態に応じた手段を提示できたか。  ②意思決定のために、ICT 機器等を有効的に活用し、児童生徒の表出を引出すことができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの夢や希望の実現に向け、たくましく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援・指導を組織的・連携的に行う。	①自己理解・他者理解を深め、良好な人間関係を育む指導・支援を充実させる。	①他者理解に向けた学習内容やグループ編成等を工夫し、授業を展開する。	①学習内容やグループ編成等を工夫し、授業を展開できたか。また、児童・生徒の行動や意識の変容は見られたか。					
3	進路指導・支援	・小・中・高を通した一貫した教育を行い、一人ひとりの障害の状況等に応じた就労支援・進路指導の充実を図る。	①教員対象進路学習会等を充実させる。  ②進路説明会、進路面談等を充実させ、児童・生徒や保護者が理解を深められるよう、関係職員が連携して取り組む。	①学習会の実施時期の検討や見学先等を見直し、学習会・見学会の回数や分野を広げ、教員の理解を深める。  ②卒業後の生活等の情報発信をし、教員も共に学ぶ。主体的な進路選択ができるような働きかけを学部と分掌が連携して取り組む。	①教員の進路指導の理解は深まったか。  ②卒業後の生活等の情報発信ができ、教員も共に学べたか。主体的な進路選択に繋がる働きかけを学部と分掌が連携して取り組めたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	・共生社会の実現に向け、地域と連携・協働し教育活動の充実を図る。 また、センター的機能を発揮し、教育的ニーズに応じた効果的支援の推進と共に、交流及び共同学習等を通じた、児童・生徒の相互理解を図る。	①地域の人材や企業等を活用し、地域と協働し、授業の充実を図る。  ②地域の学校との交流及び共同学習を通して、児童・生徒の主体的な活動や関わりを推進する。  ③地域のニーズを踏まえた学校情報を発信する。	①地域の人材や企業等を積極的に活用し、効果的な授業作りを推進する。  ②交流相手と年間を通して、定期的な交流及び共同学習を計画する。主体的な関わりや相互理解が深まるような活動を工夫する。  ③地域のニーズと学校の役割を明確にし、地域のニーズに応じた内容や方法を考え、効果的な情報発信を行う。	①地域の人材や企業等を積極的に活用し、効果的な授業作りはできたか。  ②計画的に定期的な交流ができたか。児童・生徒の主体的な関わりや相互理解が深まるは見られたか。  ③効果的な情報発信ができたか。また、地域のニーズに応じた内容や方法を考えることができたか。					
5	学校管理 学校運営	・不祥事の未然防止に努め、同僚性・チーム力を高め、不祥事防止の徹底を図る。  ・児童・生徒の安全と健康を守り、計画的・組織的な学校安全を推進する。  ・ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、教員の働き方改革を推進する。	①未然防止に繋がる情報共有や注意喚起を各学部・分掌で計画的に取り組む。  ②学校防災について、再確認、再点検を進め、学校の防災力を高める。  ③分掌・学部業務の削減と効率化・簡略化を進める。	①注意喚起のタイミングや方法を検討し、効果的な情報共有や発信を行う。  ②防災教育を含めた学校防災の取り組みを推進する。また、地域にも発信する。  ③業務内容を再検討し、削減できるものは削減していく。また、各種面談記録の効率化・簡略化を図る。ICT機器を活用したり、面接の際の項目や観点を整理し、明確に示したりする。	①各学部・分掌で、効果的な情報共有や発信を行い、未然防止に繋がったか。  ②防災教育を含めた学校防災の取り組みを推進できたか。また、地域に発信できたか。  ③業務内容の削減はできたか。また、効率化・簡略化を進めることができたか。					